

広報



ごじょうめ

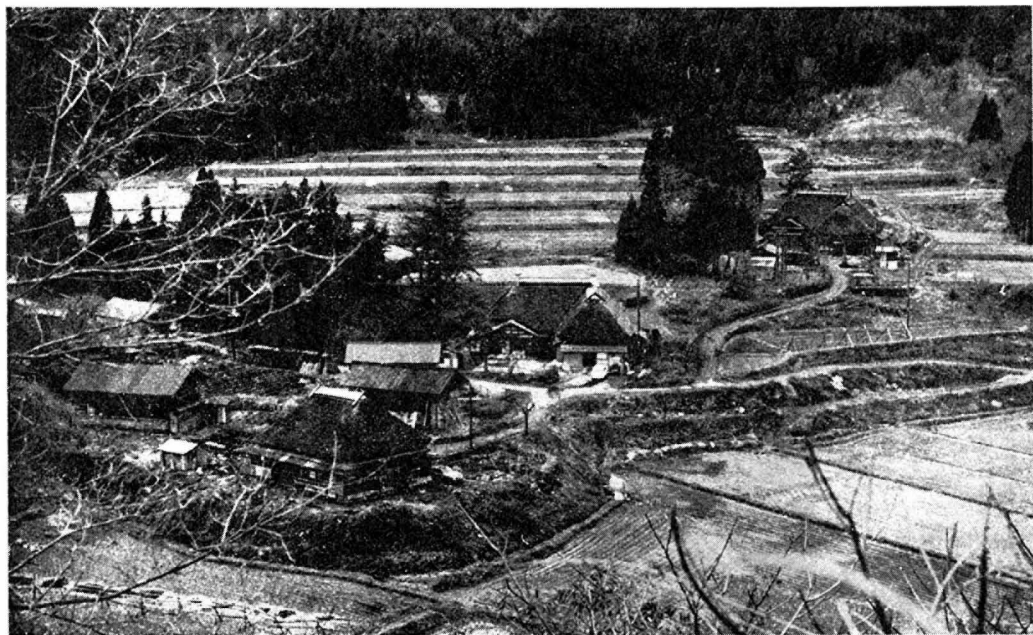
人口と世帯

世帯数	3,960	世帯	
人口	17,283	人	
内訳	男	8,342	人
	女	8,941	人

住民登録課 (51年10月末日現在)

転入・転出の場合はかならず窓口へ届出ください。

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876)代 2100番
 印刷所 潮東印刷所 電話(018876)2430番 一部 5円
 郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行



開発整備が期待される合地部落

寄宿舎など来年度から着工

町では来年度から5カ年計画で馬場目の落合、乾喰、北の又地区を対象に、辺地総合整備を実施することになった。

その計画によると、小中学生のための寄宿舎(木造平屋建、82.6㎡)の建設。通学道路を巾員3m、延長1,650mに舗装整備、それにガードレール650m取付ける。

またこの地区においては、長年の懸案であった集会所(木造平屋建57.9㎡)を乾喰部落の入口付近に予定している。これを整備することにより集会はもちろん、地域住民の研修の場としてその利用効果は大いに期待されることである。

冬期間の足に雪上車

この地域において最も苦慮しているのは、冬期間における生活道路の確保と物資の搬出、それに急病患者の輸送であるが、これに対処するために、5人乗りの雪上車とその格納庫が計画されている。その外、不時の火災に備えて、消防小型動力ポンプ(30PS)1台、それに貯水槽を乾喰と北ノ又にそれぞれ1基を設置する計画である。

農道に及ばない県道の早期改修を望む

この合地地区は、本町の中心部から約16kmの位置にあり、戸

合地地区 来年度から 総合整備計画実施

数25戸、人口122人で構成されている。幹線道路として県道は通っているものの、県道とは名ばかりで車も走れない道で、平坦地の農道に及ばない状態である。この点については先に行われた知事との懇談会で、加賀町長がその路盤改修と拡巾をすすよう執ように食い下がり、その現況調査を約束させている。通学する児童生徒はもちろん、この地域住民におけるかけがえない生活道路である。車を利用する人は併用林道をう回している状態で、不便極まりない生活を余儀なくされている。この道路改良の早期完成は、合地地域から町部に通勤する可能性を生み出し、暮家流出の防波堤になることは確かで、この事業とは関係ないが早い着工を望みたいものである。

合地の人々に明るい光を

さらに冬期通学を不可能にする積雪量は町部の3倍になり、杉沢部落に12月から春3月まで下宿し、家族を離れ離れにしている。残された老人たちも、下宿する若夫婦も今までじつと耐えてきた。運きに失した感はあるが、今度の計画実施が、合地の人々に生きる張り合いと喜びを与える一筋の光となってくれることを期待したい。

△広報サロン▽

政治に対する意志表明を

五城目町選挙管理委員長

島崎 徳 司



来る十二月五日は、衆議院議員選挙と、最高裁判所裁判官審査の投票日である。

選挙は、国民が主権として政治的意志を表明するもつと重要な機会である。成年に達した全ての国民は、選挙権を有し、これを行使することは、有権者にとって唯一の権利である。とともに、投票の秘密は、何人にも侵されることなく、又公的にも、私的にもその責任を問われることはない。これは憲法で保障されていることである。うまでもない。

今回実施される衆議院総選挙は四年振りの国政選挙であり、選挙民の意志を代表して、国政を司る議員を選出することである。選挙民にとっては、国運をかけたの選挙であるといつても決して過言ではない。

各人の意志をこの一票に環元する。つまり四年に一度の国政参加出来る貴重な機会であると同時に極めて重要な意義をもっている。選挙人各位は何人にも侵されることなく、十二月五日の投票日には棄権することのないよう、自信をもって必ず投票して下さい。このことは又、選挙人各位の義務でもある。

男も女も、老いも、若きも「国政と暮らしを結ぶこの一票」を合言葉に、近隣お誘いあつて汚さぬ清い一票を投じましょう。

中村部落で移動町民室

バスの運行など活発な要望、意見

去る十一月二十六日午後六時半から馬場目中村部落公民館で中村部落(部落長佐藤安太郎、六五戸)移動町民室が開かれた。風雨の強い最中にもかかわらずバス五名が参加し、農村総合整備モデル事業、通勤通学バス運行など今までのない活発な要望や意見が出された。

九回目を迎えた移動町民室は、町の事業を進める上で、住民が日常的に持っているいろいろな考えを町政に反映させるため設けられたものであるが、回を重ねるごとにその地域地域でかかっている問題が鮮明度を増し、町施策の上でも非常に参考になる場面が多く移動町民室の意義が深まってきた。このたびの町民室の内容はおよそ次のとおりである。

はじめに、佐藤安太郎部落長のあいさつではじまった。

町からつね日ごろご指導ご援助を受けているが、まだまだ要望があるということでも移動町民室を開いた。きょうは町長はじめ収入役関係部長が出席しているので時間の許す限り要望なり意見等を出していただきたい。

加賀谷町長あいさつ
雨の中多数参加していただきありがとうございました。

みなさんのご意見を聞きながら仕事を進めてゆきたい。
きょう旧議員たちと町内を視察した。馬場目、富津内、旧五城目大川など現地に降りて直接みてきた。

農家所得の向上

この起伏に富んだ広大な町を考えるとき周辺町村に比べて見劣りしないと思う。

中村部落はこの町の先兵的な存在であり内陸地域として模範的な要素がある。
昨今、人口流出による過疎現象は横ばい状況となっている。過疎

現象を食い止めるには、何よりもまず皆さんの所得を確保すること

が重要で誘致事業はその代表的なものである。他地域では企業閉鎖や生産規模の縮小といった状況下で本町の誘致工場は依然として好況な活動を見せている。

町はこうした企業の立地条件を整えながらもますます生産力の維持向上を図る策地をつくる。

プラスの秋田海開発

また、新産都市秋田湾の大規模工業開発で鉄鋼コンビナート計画が具体的な日程として出ている。その関連業種を含めると周辺市町村に好影響をもたらす。

今後の課題は、円滑な交通体系をつくることである。

国道整備、広域林道、杉沢、仁別間道路などが対象となる。

中核林業で補助事業促進

農村地帯の生活環境を整備するため計画的に仕事を進めている。本町はことし秋田県でただ一カ所中核林業振興地帯育成特別対策事

業の指定を受けた。これは林野の各種補助事業を集中的な条件を備えた市町村を対象にしたもので農村モデルや町単でできなかったものを乗せたい。

運動会にみられる団結の強さ

皆さんは歩行者天国にも勝る大運動会を道路上で実施した。その創意工夫はすばらしいものがあり団結を如実に示している。

【要望事項】

◎中屋敷線の早期舗装について、拡巾と併せて舗装する約束であった。メドはいつか。

町：五十二年実施を目途に補助事業を取組むたい。

◎大吹沢線の着工計画はどうか。

町：これは農村総合整備モデル事業であり、ここは大吹沢、中屋敷線の道路改良と農林公園の三つを計画している。

中屋敷線が舗装され、大吹沢線が改良されて計画変更すれば舗装できるのではないかと、バス運行について

◎中村口にバスの運行について、公民館前をう回するバスを一本ぐらいはしない、とりわけ老人、子ども向けにおねがいしたい。

◎通学バスを登校時は中村部落え下校時は学校近くから運行し、歩行距離を考えてほしい。あるいは待合室を修理して暖かくしてもらいたい。

◎この間から道路の補修をしているが、町から来て立合ってほしいとのことが多かった。もう少し事前に話してもらいたい。

◎公民館の老朽化が激しいこれを改善する場合町から補助を得られぬか。

町：補助制度があり具体的な計画をもってもらいたい。

町：貴重な土地をご協力いただき大へんありがたい。大へんご迷惑をかけた。よく事情を調べて回答したい。

◎子どもを歩かせることについてただきたえるだけではムリだ。天候のよし悪しなどを考えてもらいたい。また統合条件として部落まで運行する約束であった町：当時の陳情書等を調べたが具体的に文書化したものはない。

◎林檎林道の工事について広域林道に結びつけてもらいたい。そのメドはいつか。

町：広域林道にぜひ結びたい。時期は一般林道で延長し、広域林道に結ばうとしても林檎林道が終了したあとでなければ一般林道に取上げられないという条件がある。

◎二次林檎が追加なる可能性があり実現すれば林檎事業で実施したい考えで両面から働きかけたい。早く五十二年度になる町：助成できないか。

◎林道が延長されればどっか山の中えゴミ投棄所をつくりたい。町：助成できないか。

◎この間から道路の補修をしているが、町から来て立合ってほしいとのことが多かった。もう少し事前に話してもらいたい。

◎公民館の老朽化が激しいこれを改善する場合町から補助を得られぬか。

町：補助制度があり具体的な計画をもってもらいたい。

◎乳幼児の集団検診は町中心でなく各地区にできる体制にしてほしい。

町：医師会との関連もあるので十分検討したい。

まとめ町長
地元のみならずとよく連絡をとるが町から事業を推進すべきであることを痛切に感ずる。いろいろな事項について実現できぬものは最善を尽したい。そこで二つばかりご相談したい一つは生徒の通学の問題である。歩行通学が良いがその方法だと思ふ。町では年間約二千万の通学費補助をしており、よく現状を考慮してもらいたい。二つには所得を確保するにはまず農業生産の所得を上げて町の産業を興隆させることが非常に良いことである。馬場目の中心地として今後の発展を期したい。



住民の熱心な要望に耳を傾ける町当局

みんな投票しよう

12月5日は衆議院議員総選挙の日

昨年、公職選挙法が改正されてから初めての総選挙です。私たち一人一人の自覚と責任で、義理や人情にまどわされず、買収・供応などのない、きれいな選挙をしましょう。

投票日に投票所へ行けない人は不在者投票をしましょう。

詳細は町の選挙管理委員会におたずねください。――



～歳末たすけあい～ みんながそろって明るい正月を

十二月一日～十二月三十一日

たすけあいは二つの方法で

歳末たすけあい運動は、「みんながそろって明るいお正月を迎えられるように」のスローガンのもとに、毎年十二月一日から十二月三十一日まで共同募金運動の一環として行われています。

この運動は、民生、児童委員をはじめ婦人、青少年等を中心に推進される地域単位のたすけあいとNHKによる「NHK歳末たすけあい」の二つの方法によって全国的に展開されています。

住民の自発的な意志のもとづく地域のたすけあい運動は、社会福祉協議会や、民生、児童委員が日常的に行っている福祉問題の実態把握や生活相談活動等と結びついて展開され、生活困窮家庭や被災者家庭、社会福祉施設利用者に対する金品を受け入れています。

また、NHK歳末たすけあいは日本放送協会がテレビやラジオで呼びかけ、寄付者は全国の最寄りの郵便局、NHKの窓口、共同募金会、取扱指定の銀行の窓口を通じて、地域の生活困窮者、窓たきり老人、独居老人、重篤心身障害児(者)等に金品を贈るための義援金の受け入れを行っています。

恵まれない人に明るい正月を

この歳末たすけあい運動によって集められた善意による寄付金は地域の恵まれない人々が明るくお正月を迎えられるように社会福祉協議会を通じて、越冬資金や正月支度金、お年玉、日用品、毛布な

どとして送られています。

なお昭和五十一年度の秋田県の目標額は、約四十九億万円、五城目町の場合は七十四万円となっています。

大川小学校

親子で新米を味う

去る十一月十八日大川小学校では、父兄一六人が参加して、全校の親子給食会を行った。

これは学校の南側にある三ノ木の田んぼに五月二十六日稲付け十月十八日六年生によって刈取られた、いわゆる自分たちの手で収穫したお米である。



新米の味をかみしめる親子給食

耕耘と脱穀こそ父兄の手を借りたが、その他の栽培管理はすべて児童生徒の手にやるもので、汗たご飯をおぼる顔には、ほのかな自信と押へ切れない喜びがあふれていた。改築中の校舎も、日増しにその容姿が変わっているが来年少らはこのたんぼが校地の一部とならため、今年で終りになるだろうと山平校長は一抹の淋しさを訴えていた。

当日午前中から母親学級を開き親子球技大会、昼食後は親子校内清掃、レクリエーションなど賑やかなプログラムが組まれていた。親子球技(バスケット)大会で

十一月十七日より

電報電話料金が変わりました

- 一、電報料 金 ()内は旧料金
基本料 二十五字まで 三〇〇円 (一五〇円)
累加料 五字ずつに 四〇円 (二〇円)
- 二、電話基本料(月額)
単独電話 (五十二年三月)(五十二年四月)(三十一日まで) (月一日から)

- 事務用 一七〇〇円 二二〇〇円 (一一五〇円)
- 住宅用 一〇〇〇円 一六〇〇円 (八〇〇円)
- 普通二共同 一四七〇円 一九五〇円 (九八〇円)
- 住宅用 一〇〇〇円 一三五〇円 (六八〇円)
- 普通二共同 一二〇〇円 一五〇〇円 (七五〇円)
- 事務用 七八〇円 一〇〇〇円 (五二〇円)
- 住宅用 一七〇〇円 一四〇〇円 (九四〇円)
- 普通式 一〇五〇円 一二五〇円 (八四〇円)

(注)十一月の基本料金は日割計算となり十二月に精算となります。

三、ダイヤル通話料

従来一度七円が十二月六日から十円となります。かけられる秒数は変わりません。

また住宅用電話の方は一月(前月までの分)六十秒未満のときは一度七円となり六十秒以上となったときは全額十円となります。

(五十二年三月三十一日まで)

四、公衆電話料

一度十円という基本単位は変わりませんが一般電話料との均衡をはかるため三十秒以上のところがかげられる秒数の変更があります。

五、新規架設(設備料)代金

- (新) (旧)
- 単独電話 八万円 五万円
- 二共同電話 四万八千円 三万円

ひとり暮らしの老人宅や母子家庭宅などに新設する場合は設備料の分割払いができ債券の引受けはなりません。

六、電報制度の改正

至急電報や配達日時指定の取扱いなくなり廃止扱い、時間外取扱配達日指定などの制度に変わりました。

① 廃止扱

慶祝または慰問のための和文電報であって発信人の請求によって廃止用紙を使用して配達するものとして。なお電報については配達日の三日以前に発信した場合に限り一五〇円割引きます。

② 時間外取扱

午後九時から翌日午前八時までの間に発信する電報について発信人の請求により、その時間内に配達するもので料金は一通ごとに一〇〇〇円となります。

③ 配達日指定

発信人の請求により配達日の十日前から前日までに発信する電報については、発信人の指定する日の午前または午後には配達するものとす。

但し、年賀電報は十二月十日から十二月三十一日までの間事前受付を行ないます。注 詳しいことは五城目電報電話局営業係(番二〇〇〇)にお問合せください。

忘れものコーナー

町民センターや広域体育館に忘れ物したいろいろな品物を公民館で保管しているの、心当りの方はお早目においでください。

- ・Tシャツ (紫)
- ・女性用マフラー (赤)
- ・中学生用体育シューズ(黒)
- ・バスタオル (赤)
- ・タオル (三本)
- ・野球帽 (三ヶ)
- ・竹 刃 (一本)
- ・シュルダーパーック(一)
- ・小銭入れ
- (何千円が入っている)
- ・座布団(風呂敷で包んだもの)
- ・サンダル 一足 (外はき用)

第十九回 全町卓球大会

女子単で椎名(五高二年)選手優勝

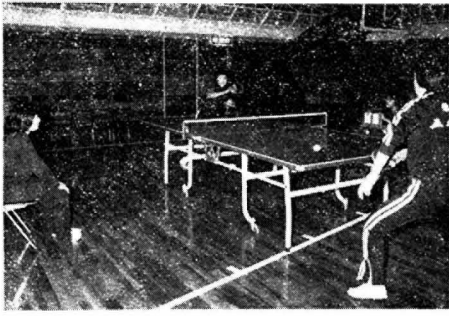
去る十一月十九日午前九時から
広域体育館で第十九回全町卓球大
会が開かれた。

当日はあいにくの冷え込みが厳
しい天気にもかかわらず各地から
一般社会人、高校生、中学生など
男女合せて二五〇人の選手が参加
した。

大会は団体、個人戦の単複が行
われ、団体では秋田トヨタが優勝
個人女子単は椎名選手(五高)が
初優勝した。

成績はつぎのとおりである。

▽団体戦
・職場対抗
決勝 秋田トヨタ 2-1 信用金庫
民館森山分館では、森山地区住民
を対象にした、室内
総合運動会を広域体
育館で開くことにな
った。



女子個人戦で優勝した椎名(五高)選手のスマツシユ

来る十二月十二日、五城目町公
民館森山分館では、森山地区住民
を対象にした、室内
総合運動会を広域体
育館で開くことにな
った。

この大会は季節柄
室内で行うが競技種
目が十六種目あり、
加えて運動会終了後
は家庭パレーボール
大会もあり、この総
合点数で順位が決ま
ることになっている
内容は次のとおり
一、期日
十二月十二日(日)
二、時間
午前十時
集合 午前十時
開会式
午前十時十五分

運動会をより楽しく、地域住民の
参加を促すため、この
大会は、家庭パレーボ
ール大会を行い、こ
の点数も加えて
総合順位を決める。

森山地区住民総合運動会

十二月十二日 広域体育館で
開始 午前十時三十分
三、会場 五城目広域体育館
四、資格
①森山地区住民であること。
②居住する部落からの出場である
こと。
五、注意
①出場選手は満年齢を採用する。
(十二日現在)
②出場選手は一人二種目までとす
る。
③採点は一位四点の逆点方式とす
る。参加点は一、二、三、四、五、
④⑤までのルールに違反したものは
失格とする。
⑤競技終了後は、家庭パレーボ
ール大会を行い、こ
の点数も加えて
総合順位を決める。

・一般男子複
決勝 一松 2-1 戸井田
・一般女子複
決勝 小武海 2-1 鈴木
・小武海、椎名組は二年連続
・三〇才以上男子単
決勝 猿田 2-1 小森
・猿田選手は六年連続
・四〇才以上男子単
決勝 福島 2-1 渡辺
・福島電気 (五松堂)
・五〇才以上男子単
決勝 猿田 2-1 渡辺

・一般女子単
決勝 三戸 2-1 一閃
(四年連続)
・一般女子単
決勝 椎名 2-1 小武海
・小武海、椎名組は二年連続
・三〇才以上男子単
決勝 猿田 2-1 小森
・猿田選手は六年連続
・四〇才以上男子単
決勝 福島 2-1 渡辺
・福島電気 (五松堂)
・五〇才以上男子単
決勝 猿田 2-1 渡辺

町民センターを 利用しての

「宿泊研修」さかん

今年度になってから町民センタ
ーを利用しての「宿泊研修」が次
第に多くなっている。「宿泊研
修」最近の例をひらいてみますと次
のとおり。

◎中央地区教育研究集会

十一月十一日・十二日の一泊二
日、県教育庁中央教育事務所(由
利出張所含む)管内の、各小、中
学校上級教員を対象にした研修会
で、県教育庁、中央教育事務所の
指導者を含めて、約四十五名の参
加者でした。

◎慶ノ巣婦人会の宿泊研修

十一月十三日・十四日の一泊二
日で、町議会議員の婦人会長を
はじめ、二十名が宿泊し、講師
に出川鶴ノ巣町長や本町の常礼子
さん等が講師として参加した。

◎森山地区婦人研修会

十一月十七日・十八日の一泊二
日で、婦人会退会者で組織してい
る磐(とぎわ)会員二十名、い
つり会の反省や話し合いをしゆ
っくり湯につかって、楽しい集
会であった。

◎役場上級職員研修会

十一月二十二日・二十三日の一
泊二日で、係長以上役まで約四

十名の参加で、町の現在や将来の
課題について、真剣な研究討議を
重ねた意義ある宿泊研修でした。
これらの宿泊研修を通じて共感
を得たのは、夜景を始めてとして展
望のよいこと、風呂にゆつくりつ
かってなお快い暖房、それに極め
て静かな夜で寝こちのよいこと
などで、今後広く住民のご利用を
お待ちしております。

◎応募の要領、資格
(イ)短歌、俳句、川柳はそれぞれ十
首(句)、詩は三十行以内、随
筆は、四百字詰原稿用紙で七枚
以内。
(ロ)応募は一人一部門につき一編と
し、作品は未発表のものである
こと。
(ハ)応募できる方は、五城目町の町
民であればどなたでもよい。

みなさんの

文学作品を待つてます

五城目町教育委員会と、五城目
町芸術文化協会では、昭和五十一年
度の文学作品を次の内容で募集
しているので、今年も町民各位の
優秀な作品が多く応募される
ことを期待している。

五城目町の文化(特に文芸)活
動は、県内でも屈指の盛んなこ
ろで、俳句、川柳、短歌、随筆、
小説など各部門でそのレベルは高
く評価されているところである。
これは長い歴史の中で諸先輩の培
かった功績が大きく、町の伝統と
なっていることは誠に喜ばしいこ
とである。後に続くみなさんも、
諸先輩に負けないよう積み重ねを
大事にして、このような機会を利
用しながら自分の作品を伸ばして
もらいたい。

△募集要領▽

◎募集部門
短歌、俳句、川柳、詩、随筆の
五部門。

簡易保険事業で長寿者に金一封
以来六十年を経ており、五十万円
の契約件数と二十兆円の契約高
に成長している。

郵政省では七兆円の資金を持つ
までに至り国民各位のご協力に感
謝する意味から、例年八十歳を
迎えた方にその長寿を祝い金一封を
贈っているが、本町で今年その対
象になった方には次のとおりであ
る。

小森四郎氏、金野サタさん
清水ツタさん

おしらせ

●油に火がついたら、ぬちやオルを拡げて手前から向うへ、おおいかがせる。
●火災をくつすには、なんでもかんでも水をかければよいというのではありません。



十二月一日から
除雪体制に

問もなく雪の季節に入る。町では冬期間の除雪で交通途絶をなくし、皆さんの日常生活並びに産業活動が滞らないよう来る十二月一日から除雪体制に入る。このため皆さんに除雪に伴ういろいろな問題についてつぎの点にご協力願いたい。

- 除雪は主要路線から逐時行り。これは機械と時間に限度があるため。
- 除雪能率を高めるため、路上駐車路上放置物件並びに道路への排雪等は法律上禁止されているので充分注意願いたい。
- 屋根等から路上へ雪溜りは通行のしやまに上ったり、通行行人の人身事故へつながらる危険性があるので注意されたい。

●狭い路地等には除雪車が入れないので関係住民の間で排雪をお願いしたい。

●屋根の雪は一〇米以上になると建物災害を招くので〇・七米以下で雪をおろしを行い、また非常口を二カ所以上確保する。

●排雪は常時流れのある河川に投棄する。また橋の上からの投棄は非常に危険なので止める。

●除雪、排雪等についての問い合わせは産業建設部(電話二一〇〇)金野主任まで。

保育園児を募集

昭和五十二年度各地区保育園保育園児を募集する。要項は次のとおりである。

- 募集保育所 馬場目、杉沢、富津内、内川
- 募集人員 各保育所 六〇名
- 対象者 昭和四十六年四月二日から昭和四十七年四月一日生まれ (五歳児) 昭和四十七年四月二日から昭和四十八年四月一日生まれ (四歳児)
- 申請書受付 昭和五十一年十二月十日から昭和五十一年十二月二十日まで。住民課福祉係または入所希望の保育所で受付行。用紙は住民課及び各保育所にある。
- 身体検査 一月下旬を予定
- 費用 一ヶ月所定

老人ホーム慰問

うたや・おどりで
五城目幼稚園

十一月七日五城目幼稚園では園児二十三名と、母親六人など老人ホームを慰問した。



当日五城目町火災予防組合の斉藤副組合長や消防署長などが、園児慰問の前に酒田火災の視察報告や火災予防についてのお話があった。

園児たちはその後を引き継いでうたや踊りを披露、また持参したみかんや、お菓子をもちびたさんでプレゼントするなど大変なサービスであった。

おじいさんや、おばあさんたちは、自分たちの孫に当たる年頃の子どもの演技に、一生懸命な演技に感心感慨もひとしおなうであった。母親たちも園児に劣らぬ民謡踊りや即興劇を披露するなど芸達者なところに拍手もひときわ高かった。

電気工事の
申込みはお早目に

生活の電化は年々その需要を増し続けているが、四季それぞれに用途別工事も多くなっている現状である。

春は農家であれば用水機工事が主体となり夏は冷房設備関係、秋は急速に増えているモミ乾燥機の取付に伴う工事、冬は暖房設備とそれぞれ季節の特徴がある。

工事を依頼する人はすぐ取り付けて欲しいとする希望者が多く、その取り扱いに関係業者は非常に苦慮しているところである。東北電力五城目営業所ならびに町内の電気工事請負業者から、次の点について町民各位のご協力をお願いする旨要望が出ているので、その要点をお知らせしたい。

- 電気工事の申込みは、原則として二カ月前に申込みのこと。
 - 住宅を新築する場合は、請負業者を通じて設計が出来次第申し込むこと。
- | | | | |
|----|------------------|----|-------------------|
| 七月 | 加藤 サク 81 紀久栄町 | 八月 | 工藤 キエ 72 古川町 |
| 八月 | 佐々木 新 23 坊井地 | 八月 | 猿田 キク 85 中川原 |
| 八月 | 渡部金一郎 62 矢場崎 | 八月 | 館岡 喜助 55 昭辰町 |
| 八月 | 二日 一関 直吉 80 久保 | 八月 | 八日 石川 結太郎 67 杉沢 |
| 八月 | 二日 石川 勇藏 53 久保 | 八月 | 九日 石井ゆり子 小野台 |
| 八月 | 二日 一関 真蔵 80 杉沢 | 八月 | 十日 石川クノ 70 杉沢 |
| 八月 | 二日 沢田石幸之助 66 湯ノ又 | 八月 | 十一日 伊藤 秋夫 75 下山内 |
| 八月 | 二日 荒川 イワ 72 田町 | 八月 | 十二日 大石 巽 35 下山内 |
| 八月 | 一関 松蔵 69 久保 | 八月 | 十三日 荒川要治郎 51 畑町 |
| 八月 | 五日 村井 武彦 80 矢場崎 | 八月 | 十四日 加藤 キツ 80 浦横町 |
| 八月 | 八日 貝田 定吉 79 新畑町 | 八月 | 十五日 工藤為五郎 67 浅見内 |
| 八月 | 十日 米田 礼蔵 77 岡本 | 八月 | 十六日 石川結太郎 67 杉沢 |
| 八月 | 十日 館岡秀之助 82 昭辰町 | 八月 | 十七日 石井ゆり子 小野台 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 十八日 石川クノ 70 杉沢 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 十九日 伊藤 秋夫 75 下山内 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十日 大石 巽 35 下山内 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十一日 荒川要治郎 51 畑町 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十二日 加藤 キツ 80 浦横町 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十三日 工藤為五郎 67 浅見内 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十四日 石川結太郎 67 杉沢 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十五日 石井ゆり子 小野台 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十六日 石川クノ 70 杉沢 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十七日 伊藤 秋夫 75 下山内 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十八日 大石 巽 35 下山内 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十九日 荒川要治郎 51 畑町 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 三十日 加藤 キツ 80 浦横町 |

おくやみ申しあげます

- | | | | |
|----|------------------|----|-------------------|
| 七月 | 加藤 サク 81 紀久栄町 | 八月 | 工藤 キエ 72 古川町 |
| 八月 | 佐々木 新 23 坊井地 | 八月 | 猿田 キク 85 中川原 |
| 八月 | 渡部金一郎 62 矢場崎 | 八月 | 館岡 喜助 55 昭辰町 |
| 八月 | 二日 一関 直吉 80 久保 | 八月 | 八日 石川 結太郎 67 杉沢 |
| 八月 | 二日 石川 勇藏 53 久保 | 八月 | 九日 石井ゆり子 小野台 |
| 八月 | 二日 一関 真蔵 80 杉沢 | 八月 | 十日 石川クノ 70 杉沢 |
| 八月 | 二日 沢田石幸之助 66 湯ノ又 | 八月 | 十一日 伊藤 秋夫 75 下山内 |
| 八月 | 二日 荒川 イワ 72 田町 | 八月 | 十二日 大石 巽 35 下山内 |
| 八月 | 一関 松蔵 69 久保 | 八月 | 十三日 荒川要治郎 51 畑町 |
| 八月 | 五日 村井 武彦 80 矢場崎 | 八月 | 十四日 加藤 キツ 80 浦横町 |
| 八月 | 八日 貝田 定吉 79 新畑町 | 八月 | 十五日 工藤為五郎 67 浅見内 |
| 八月 | 十日 米田 礼蔵 77 岡本 | 八月 | 十六日 石川結太郎 67 杉沢 |
| 八月 | 十日 館岡秀之助 82 昭辰町 | 八月 | 十七日 石井ゆり子 小野台 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 十八日 石川クノ 70 杉沢 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 十九日 伊藤 秋夫 75 下山内 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十日 大石 巽 35 下山内 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十一日 荒川要治郎 51 畑町 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十二日 加藤 キツ 80 浦横町 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十三日 工藤為五郎 67 浅見内 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十四日 石川結太郎 67 杉沢 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十五日 石井ゆり子 小野台 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十六日 石川クノ 70 杉沢 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十七日 伊藤 秋夫 75 下山内 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十八日 大石 巽 35 下山内 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 二十九日 荒川要治郎 51 畑町 |
| 八月 | 十日 石川キノ 66 杉沢 | 八月 | 三十日 加藤 キツ 80 浦横町 |